

8月

ひまわりぐみ



お化け祭り屋敷はじまるよ～

お店は『クレーンゲーム』『りんご・ぶどう・いちご飴』『おもちゃすくい』の3つのお店が決まり、品物の準備も段々と出来上がってきました。しかし、どんな風に品物を置くのか？クレーンゲームは何回できるのか？など一度お店ごとに集まった方が良いのではと思い、それぞれのお店に分かれて話し合ってみました。

＜りんご・ぶどう・いちご飴チーム＞



みんなどんな飴好き？一番好きな味言ってみよう！

＜クレーンゲームチーム＞



まずは掴むやつ箱に入れよう

＜おもちゃすくいチーム＞



何処におもちゃ入れる～？

保育教諭もそれぞれのチームの中に入って話し合いに参加しながら、品物の置いてみよう！という事になり遊戯室へ早速行ってみました。すると…『おばけ祭り屋敷』なのに「あれっ？お化けおらんね」ということに気付いた子ども達。「みんな、おばけ祭り屋敷なのにお化けいないけど大丈夫？」と保育教諭が確認すると「それはダメや！」「お化け作ろう！」という事になりました。

どんなお化けがいろいろかな～？ 絵本から探そう！



このお化けとかいいんじゃない？

みんな協力してカラカサお化け作ったよ☆



顔が風船のろくろ首を入りに飾りつけてるよ

衣装もつくったよ～♪



お化け祭り屋敷がスタート お化け祭り屋敷はじまるよ～!!



お店の準備ができたから、お客さんに来てもらえるようにと、放送でお知らせしました。放送で知らせればいいやん！とこれも子ども達のアイデアです☆

いらっしやいませ～



どれにしますか～？



クレーンゲーム、つかめるかな～？

がんばれー!!

こっちにおいで～



ピーヒャララ～♪



自分達の作ったお祭りにお客さんが来てくれてとても嬉しそうなお客さん達でした。一生懸命作った品物を手にとってもらえたり「おいしいー」と言って食べる真似をしてくれたりお客さんが喜んでいる表情が嬉しくてたまらない様子でした。異年齢との交流でも普段から関わっていることもあってか、小さい子もすぐにお祭りの雰囲気慣れてくれました。中には、小さい子とどうやって関わっていいのかわからず戸惑う子もいましたが、友達や小さい子と手を繋いでリードしている姿を真似したり、景品を渡したり「いらっしやいませ～」と声を掛けたりしてその子なりに一生懸命関わる姿が見られました。最後の手作りの獅子舞も盛り上がり、みんなでアイデアを出し合って作り上げてきたお祭りは大成功でした!! お客さんに喜んでもらえるようにとみんなで作り上げてきたこと、お客さんの笑顔を見て嬉しかったこと、小さい子との関わりなど『お化け祭り屋敷』という遊びを通して心動かされる体験ができました。これらの経験を通して、相手を思う気持ちや自分達ってすごいんだな！という達成感や満足感を味わい友達と過ごすことの楽しさや喜びを感じていってもらえたらいいなと思います☆